

校長のつぶやき

校長室便り 第38号

令和元年11月15日 山内

○90周年式典 一生徒代表挨拶（抜粋）菊地 茉帆さんー



木々もすっかり色づき、日増しに寒さが深まってきました。本日、ここに在校生として創立90周年を迎えることを大変うれしく思います。岩高のここまでの道のりは決して、平坦なものではなかったようです。

昭和4年の創立当時はまだ校舎がなかったため小学校の教室を間借りすることになり、生徒は肩身の狭い思いをしながら学校生活を送ったそうです。勉学への意欲は高かったものの、学習環境はとても厳しかったようです。それから90年が経ちました。歴史を感じさせる校舎と豊かな自然に恵まれたこの学び舎で、歴史を積み重ねながら、岩高生はたくさんの特色を発揮するようになりました。

入学式から始まって、活発な意見交換の場である生徒大会、全校が熱く盛り上がる体育祭、強い心で走り抜くマラソン大会、生徒一丸となる岩高祭、高校生活一番の思い出となる修学旅行、様々に岩高らしさで彩る行事が数多くあります。どの行事においても、岩高生は様々に活躍する姿を見せてくれます。特に二大行事である体育祭と文化祭では、普段の学校生活とはまた違った、秘めたる団結力の強さを存分に発揮しています。

これらの学校行事に加え、岩出山高校には、他校とは違い、地域との関わりを大切にされた大きなイベントが存在します。まず、政宗公まつり。まつり名物の「牛鬼」を担ぎ練り歩いたり、伊達武者行列に参加したりと、全校生徒で政宗公まつりの運営に携わっています。また、鳴子峡で行われる食楽まつりにも毎年参加し、手作りクッキーの販売をはじめとして、まつりの運営の補助やダンス・吹奏楽のパフォーマンスに至るまで、まつりの盛り上がりには貢献しています。どちらのイベントにおいても、地域貢献を通して大きな達成感を得るとともに、地域と深い交流を結んでいます。総合学習では、悠備館 SHIP と呼ばれる、地域や進路について考える時間があります。ディベートやインターンシップも行い、主体的な体験を通じて学ぶ力、生きる力を養っています。資料から作り上げ、見事なプレゼンを行うグループが数多く見られます。

そして、岩出山高校といえば、岩高短歌。毎月、学校行事や季節についての歌を創っていく中で、感受性を磨き、身近なものごとについてじっくりと考えを深めています。地域の方からの反響も大きいようです。

また、その他にも各種大会での活躍や、学外での行事における岩高生の活躍が目立った場面は数多くありました。その中でも、文芸コンクールや弓道大会における本校生徒の東北大会出場、今年の宮城県総合文化祭総合開会式の中心的な運営などは、特に輝かしい活躍として印象深いものでした。これらの事をこれからも大切にすると同時に、今回迎える創立90周年を契機に、決意を新たに在校生一同力を合わせて前進していきたいと思えます。私達が社会に出たときに、堂々と胸を張り「岩出山高校卒業です」と誇りを持って言えるように努力していきたいです。岩出山高校はこれからも未来に向けて羽ばたき続けます。

最後になりましたが、これまでの岩出山高校を支えてくださいました皆様、そして90周年の記念式典開催にあたり、ご支援ご尽力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。私達岩高生は皆様のご期待に添えるよう邁進して参ります。今後とも岩出山高校をよろしく願いいたします。

○多くの皆様から生徒会長菊地茉帆さんの挨拶や司会の阿部陽和さん・氏家慧太さんをはじめ岩高生の活躍をほめていただきました。裏方で一生懸命掃除等行ってくれた岩高生もありがとう。同窓会、PTAの皆様も朝早くからありがとうございました。ではこれで今回のつぶやきはお終いにします。さあ、考査頑張りましょう！